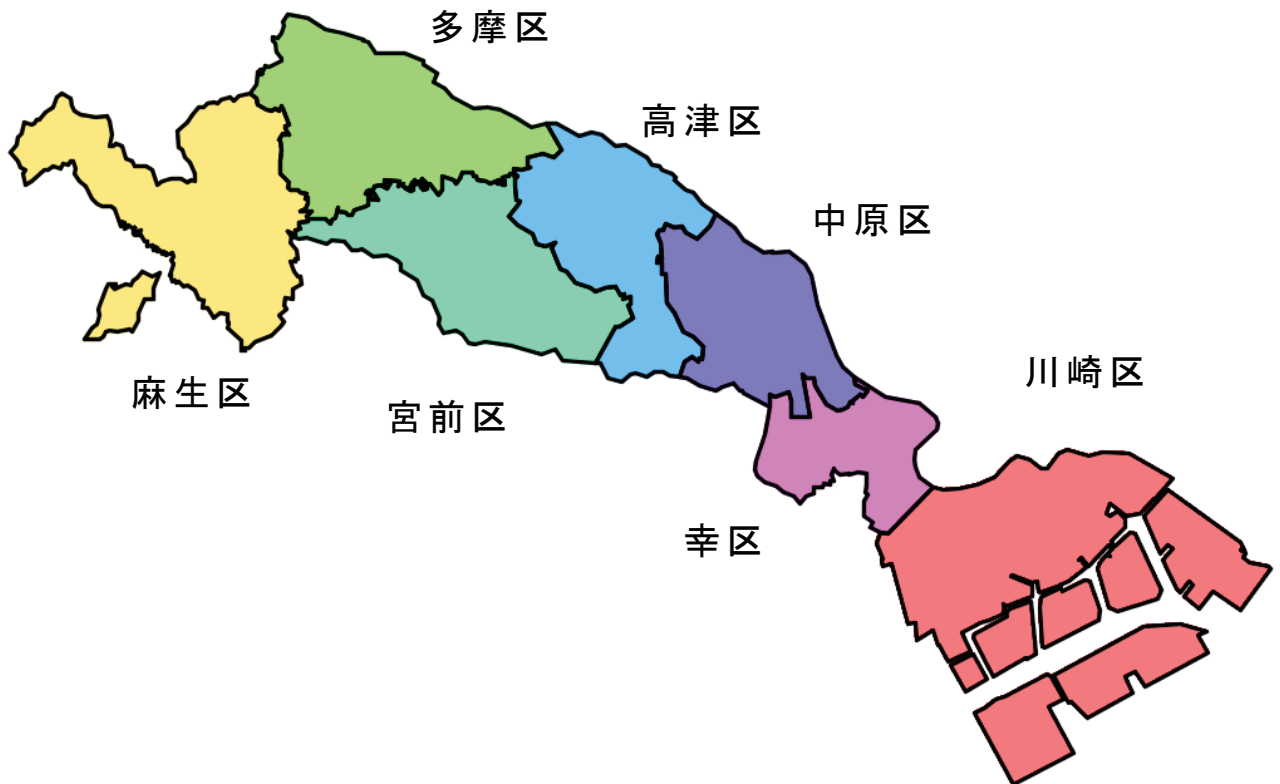


# 川崎市の人口（3）

平成22年国勢調査結果報告書

〔 人口等基本集計結果  
独自集計編① 〕



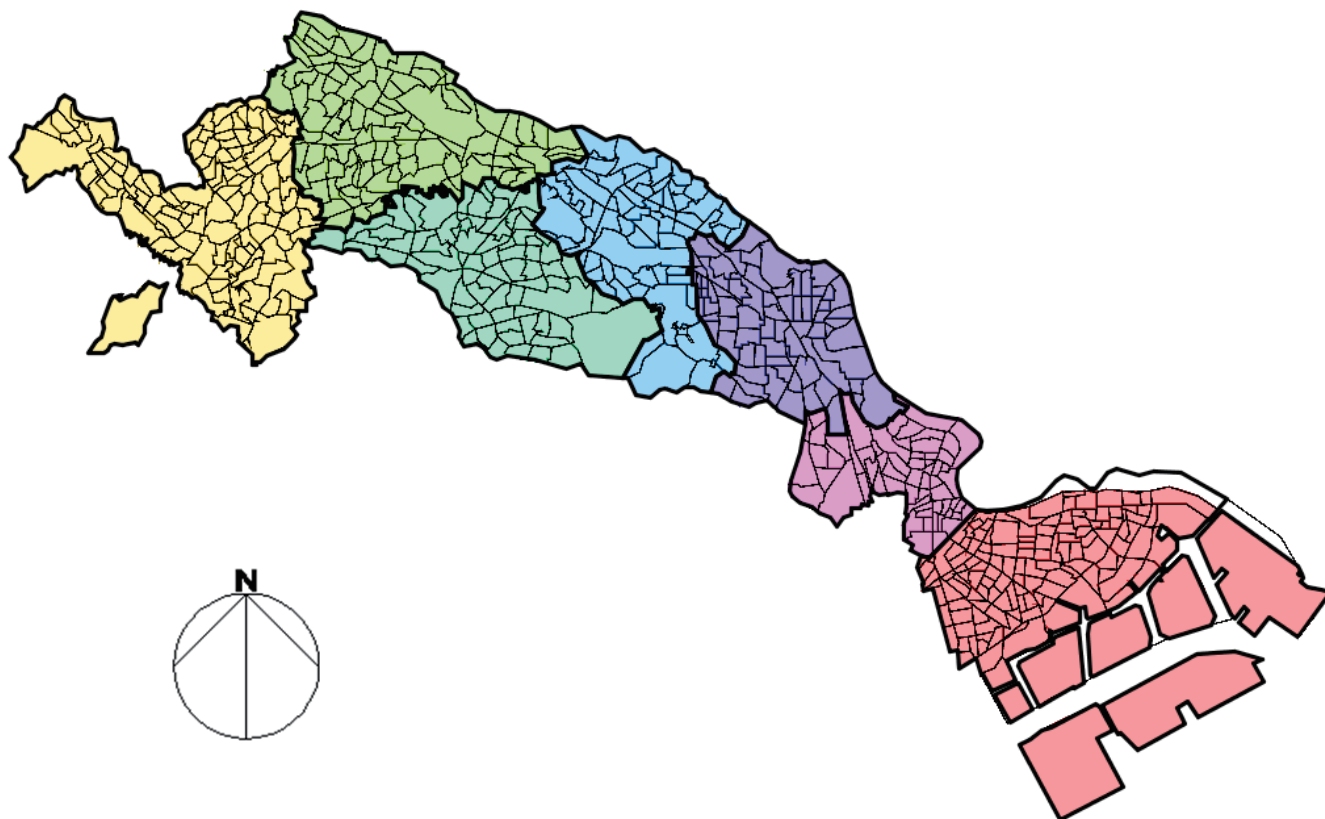
平成24年10月

川崎市

# 目 次

はじめに	1
用語の解説	2
町丁別ランキング《人口増減数・平均年齢増減数・年少人口密度・生産年齢人口密度・老年人口密度》	3
1 人口密度	4
2 人口増減数	4
3 平均年齢増減数	5
4 年少（15歳未満）人口密度	6
5 生産年齢（15歳～64歳）人口密度	8
6 老年（65歳以上）人口密度	10
※平成22年（3～6においては平成12年、17年、22年）国勢調査結果について、 GIS（地理情報システム）により市域図上に町丁別に表示しています。	
統計表一覧	12
平成22年国勢調査の主な集計結果の公表概要	13

## 《市域内各町丁図》



# はじめに

本報告書は、既に刊行済みの平成22年国勢調査結果報告書である「川崎市の人口（1）—人口等基本集計結果—」を補完するものとして刊行するものです。

本報告書では、平成23年10月26日に総務省から公表されている人口等基本集計結果を基に、地域を市・区別から町丁別にまで細分化するなどして集計し、GIS（地理情報システム）を用いて市域図上に表示することで、視覚的に解り易く掲載しています。

## 利用上の注意

- 1 本報告書に掲載しているデータは、平成22年国勢調査の人口等基本集計結果について川崎市が独自に集計したものです。そのため、総務省統計局が公表している結果と異なる場合があります。
- 2 数値の単位未満は四捨五入を原則としています。
- 3 本報告書では、平成12年、平成17年、平成22年のデータを使用しています。それらのデータは、それぞれ「平成12年国勢調査・第一次基本集計結果」、「平成17年国勢調査・第一次基本集計結果」、「平成22年国勢調査・人口等基本集計結果」から引用しています。
- 4 平成12年10月2日から平成17年10月1日、平成17年10月2日から平成22年10月1日に住居表示が実施された町丁では、その前後で数値が大幅に変動している場合があります。また、住居表示が実施されたのは以下の地域です。
  - ・幸 区…小倉、鹿島田
  - ・中原区…荻宿、木月、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬
  - ・高津区…久地、下作延、溝口6丁目
  - ・麻生区…王禅寺、片平、上麻生5丁目、下麻生、黒川、白鳥4丁目、万福寺、古沢
- 5 地図で白色になっている地域は、住居表示により境界が変更されたなどの理由により数値が得られない、または該当者のいない地域です。
- 6 本報告書では、統計データを GIS（地理情報システム）を用いて市域図上に表示しました。

※GIS（地理情報システム）は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。（国土交通省国土地理院のHP参照「<http://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html>」）

## 用語の解説

### 1 「人口」

国勢調査における人口は、調査時において、調査の地域内に常住している「常住人口」です。常住人口とは、調査時に常住している場所で調査する方法（常住地方式）による人口をいいます。すなわち、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている人をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない人は、調査時に居た場所に「常住している人」とみなしています。

### 2 「年齢」

それぞれ平成12年・平成17年・平成22年の9月30日現在による満年齢です。

### 3 「面積」

本報告書で使用している面積は、総務省統計局HP『e-Stat（政府統計の総合窓口）』内にある『統計GISプラザ』からダウンロードした数値を使用しています。これは、このデータの町丁・字等の地域区分が、平成12年国勢調査・平成17年国勢調査・平成22年国勢調査をそれぞれ実施するために設定された、基本単位区の境域を基礎としているためです。しかし、そのために住居表示等に用いられている町丁・字の地域区分、名称と一致しない場合があります。また、一部、計測できない、あるいは住居表示の実施等で町丁の境界が変更され、面積を算出できない町丁も存在します。

このような理由から、本市で公表している市・区的面積の合計値及び国土地理院が公表している数値とは異なります。

### 4 「人口密度（単位：人/ha）」

人口密度は、「人口/面積」により算出しています。

また、面積の単位については、通常「km<sup>2</sup>（平方キロメートル）」を使用していますが、市域内各町丁の面積は、ほとんどが1km<sup>2</sup>を下回るため、本報告書では単位として「ha（ヘクタール）」を使用しています。

※1ha=0.01km<sup>2</sup>=10,000m<sup>2</sup>

## 参考：川崎市の市・区別の人口

### 総人口(人)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	1,249,905	1,327,011	1,425,512
川 崎 区	194,091	203,804	217,328
幸 区	136,487	144,487	154,212
中 原 区	198,300	210,543	233,925
高 津 区	182,112	201,792	217,360
宮 前 区	200,040	207,895	218,867
多 摩 区	196,637	205,389	213,894
麻 生 区	142,238	153,101	169,926

(注) 総人口には年齢不詳を含みます。

### 年少(15歳未満)人口(人)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	170,670	174,264	185,571
川 崎 区	24,013	24,002	25,380
幸 区	17,283	17,807	19,378
中 原 区	25,460	26,490	29,780
高 津 区	25,296	27,364	29,469
宮 前 区	32,079	32,161	32,682
多 摩 区	26,778	25,818	25,562
麻 生 区	19,761	20,622	23,320

### 生産年齢(15歳～64歳)人口(人)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	923,655	957,712	988,540
川 崎 区	138,371	141,931	146,075
幸 区	97,975	101,447	103,779
中 原 区	148,758	156,354	169,555
高 津 区	137,124	148,826	153,630
宮 前 区	148,911	149,160	149,902
多 摩 区	148,844	152,409	152,184
麻 生 区	103,672	107,585	113,415

### 老年(65歳以上)人口(人)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	154,704	194,176	237,298
川 崎 区	31,545	37,323	43,138
幸 区	21,142	25,108	29,601
中 原 区	24,055	27,662	31,946
高 津 区	19,642	25,564	32,224
宮 前 区	18,842	26,551	34,873
多 摩 区	20,863	27,078	33,520
麻 生 区	18,615	24,890	31,996

# 町丁別ランキング

《人口増減数・平均年齢増減数・年少人口密度・生産年齢人口密度・老年人口密度》

## 人口増減数（人）

平成17年～平成22年	
増加数が多い5町丁	
① 中原区中丸子	5,282
② 中原区新丸子東3丁目	4,267
③ 宮前区犬蔵2丁目	4,147
④ 川崎区小田栄2丁目	3,408
⑤ 川崎区中瀬3丁目	3,102
減少数が多い5町丁	
① 幸区戸手本町2丁目	△ 1,182
② 幸区河原町	△ 743
③ 宮前区宮前平1丁目	△ 421
④ 川崎区京町2丁目	△ 356
⑤ 幸区北加瀬2丁目	△ 299

## 平均年齢増減数（歳）

平成12年～平成17年		平成17年～平成22年	
増加数が多い5町丁		増加数が多い5町丁	
① 麻生区片平	12.9	① 多摩区中野島	23.1
② 宮前区水沢1丁目	11.3	② 多摩区三田5丁目	12.5
③ 川崎区白石町	7.9	③ 川崎区塩浜4丁目	6.9
④ 麻生区虹ヶ丘2丁目	6.6	④ 麻生区五力田1丁目	5.7
⑤ 麻生区栗木	6.2	⑤ 麻生区金程4丁目	5.6
減少数が多い5町丁		減少数が多い5町丁	
① 幸区新塚越	△ 11.1	① 川崎区大師河原1丁目	△ 14.7
② 宮前区宮崎4丁目	△ 7.7	② 川崎区中瀬3丁目	△ 9.0
③ 幸区戸手本町2丁目	△ 7.0	③ 幸区神明町1丁目	△ 8.2
④ 川崎区塩浜4丁目	△ 6.1	④ 宮前区水沢1丁目	△ 8.0
⑤ 麻生区上麻生	△ 5.9	⑤ 川崎区下並木	△ 7.1

## 年少（15歳未満）人口密度（人/ha）

平成12年		平成17年		平成22年	
① 宮前区土橋4丁目	58.6	① 幸区新塚越	133.6	① 幸区新塚越	140.7
② 川崎区追分町	56.2	② 幸区戸手本町2丁目	78.6	② 幸区戸手本町2丁目	73.5
③ 川崎区京町2丁目	52.9	③ 川崎区追分町	55.8	③ 多摩区東三田3丁目	63.9
④ 幸区河原町	51.0	④ 宮前区土橋4丁目	54.7	④ 幸区神明町1丁目	60.3
⑤ 多摩区中野島5丁目	46.2	⑤ 川崎区藤崎4丁目	51.0	⑤ 中原区今井西町	56.7
⑥ 川崎区京町3丁目	45.7	⑥ 高津区新作6丁目	47.3	⑥ 中原区新丸子東3丁目	54.3
⑦ 中原区木月伊勢町	45.3	⑦ 中原区木月伊勢町	47.0	⑦ 中原区上小田中3丁目	52.7
⑧ 多摩区菅6丁目	43.4	⑧ 川崎区京町2丁目	42.4	⑧ 幸区塚越4丁目	51.9
⑨ 高津区新作6丁目	43.4	⑨ 中原区下新城3丁目	40.5	⑨ 川崎区小田栄2丁目	51.4
⑩ 中原区下小田中4丁目	42.9	⑩ 中原区下小田中4丁目	39.7	⑩ 麻生区万福寺3丁目	51.2

## 生産年齢（15～64歳）人口密度（人/ha）

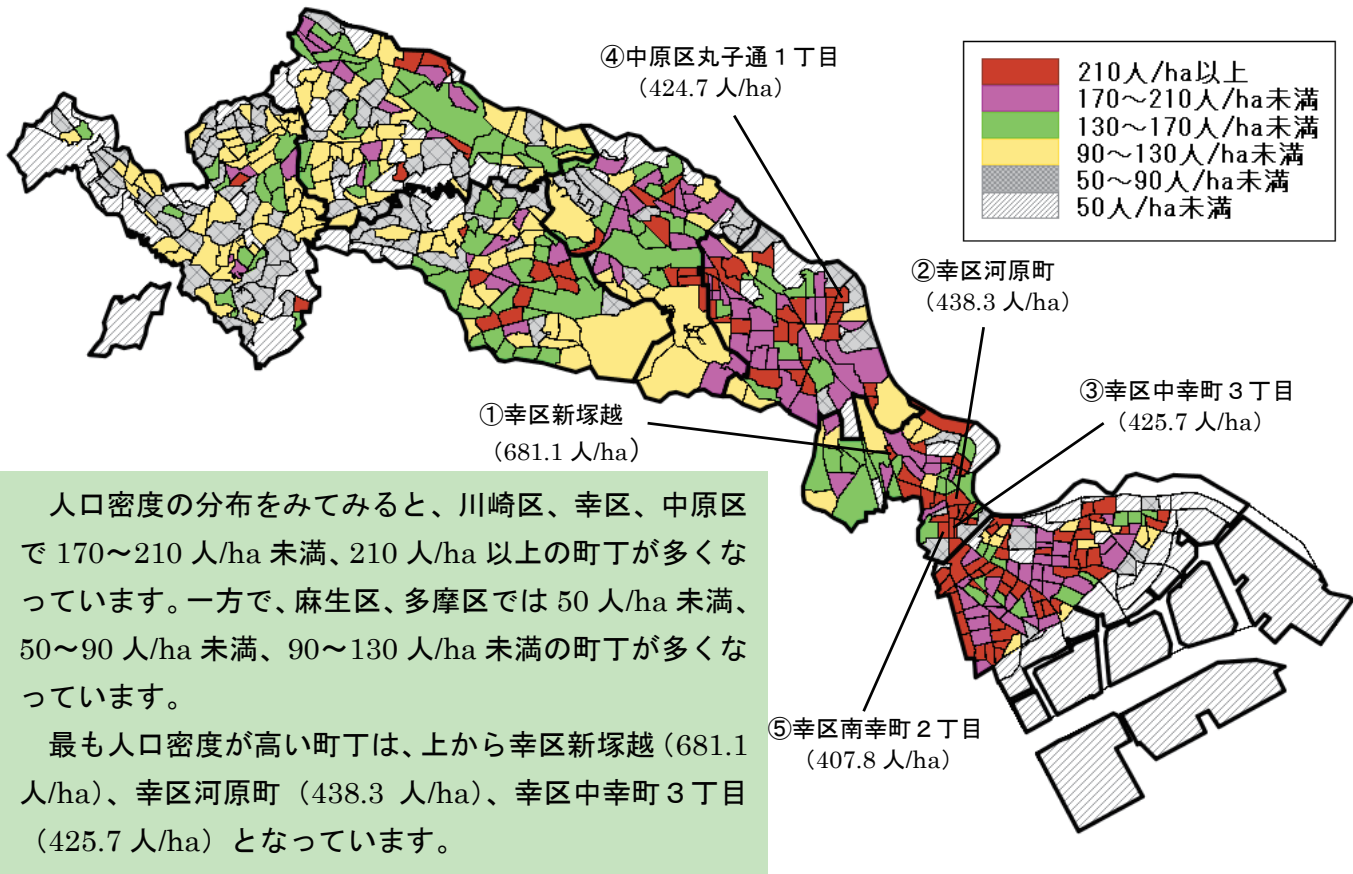
平成12年		平成17年		平成22年	
① 幸区河原町	395.5	① 幸区新塚越	496.6	① 幸区新塚越	492.4
② 中原区丸子通1丁目	324.3	② 幸区河原町	302.8	② 中原区丸子通1丁目	329.0
③ 幸区南幸町2丁目	249.7	③ 中原区丸子通1丁目	298.6	③ 幸区中幸町3丁目	319.5
④ 川崎区追分町	232.0	④ 幸区戸手本町2丁目	271.5	④ 幸区南幸町2丁目	311.6
⑤ 中原区新丸子東1丁目	229.5	⑤ 幸区南幸町2丁目	268.9	⑤ 幸区大宮町	271.3
⑥ 麻生区虹ヶ丘2丁目	223.6	⑥ 川崎区追分町	266.9	⑥ 中原区新丸子東1丁目	269.0
⑦ 中原区新丸子町	222.9	⑦ 中原区新丸子東1丁目	258.2	⑦ 中原区丸子通2丁目	265.3
⑧ 川崎区京町2丁目	216.9	⑧ 中原区丸子通2丁目	251.9	⑧ 川崎区追分町	255.0
⑨ 中原区丸子通2丁目	212.3	⑨ 中原区新丸子町	229.4	⑨ 幸区中幸町4丁目	248.8
⑩ 川崎区貝塚1丁目	205.8	⑩ 中原区新丸子東2丁目	228.5	⑩ 中原区新丸子東3丁目	242.0

## 老年（65歳以上）人口密度（人/ha）

平成12年		平成17年		平成22年	
① 幸区河原町	89.7	① 幸区河原町	141.0	① 幸区河原町	182.4
② 幸区幸町4丁目	52.5	② 川崎区貝塚2丁目	60.6	② 麻生区虹ヶ丘2丁目	71.7
③ 川崎区小田3丁目	51.6	③ 幸区古市場	54.7	③ 宮前区白幡台2丁目	68.1
④ 幸区戸手3丁目	49.1	④ 幸区幸町4丁目	54.1	④ 川崎区貝塚2丁目	63.2
⑤ 幸区中幸町2丁目	48.8	⑤ 幸区塚越2丁目	53.9	⑤ 幸区古市場	62.0
⑥ 幸区塚越2丁目	48.1	⑥ 麻生区虹ヶ丘2丁目	53.8	⑥ 幸区塚越2丁目	61.8
⑦ 幸区中幸町1丁目	47.0	⑦ 川崎区小田3丁目	53.4	⑦ 幸区小向町	61.1
⑧ 川崎区貝塚2丁目	46.1	⑧ 川崎区浜町3丁目	52.6	⑧ 川崎区渡田2丁目	58.9
⑨ 川崎区追分町	45.8	⑨ 川崎区渡田2丁目	51.6	⑨ 川崎区浅田2丁目	57.9
⑩ 幸区中幸町3丁目	45.6	⑩ 幸区戸手3丁目	51.5	⑩ 川崎区藤崎3丁目	57.8

## 1. 人口密度（平成22年）

※①～⑤は、人口密度の高い上位5町丁を表示しています。

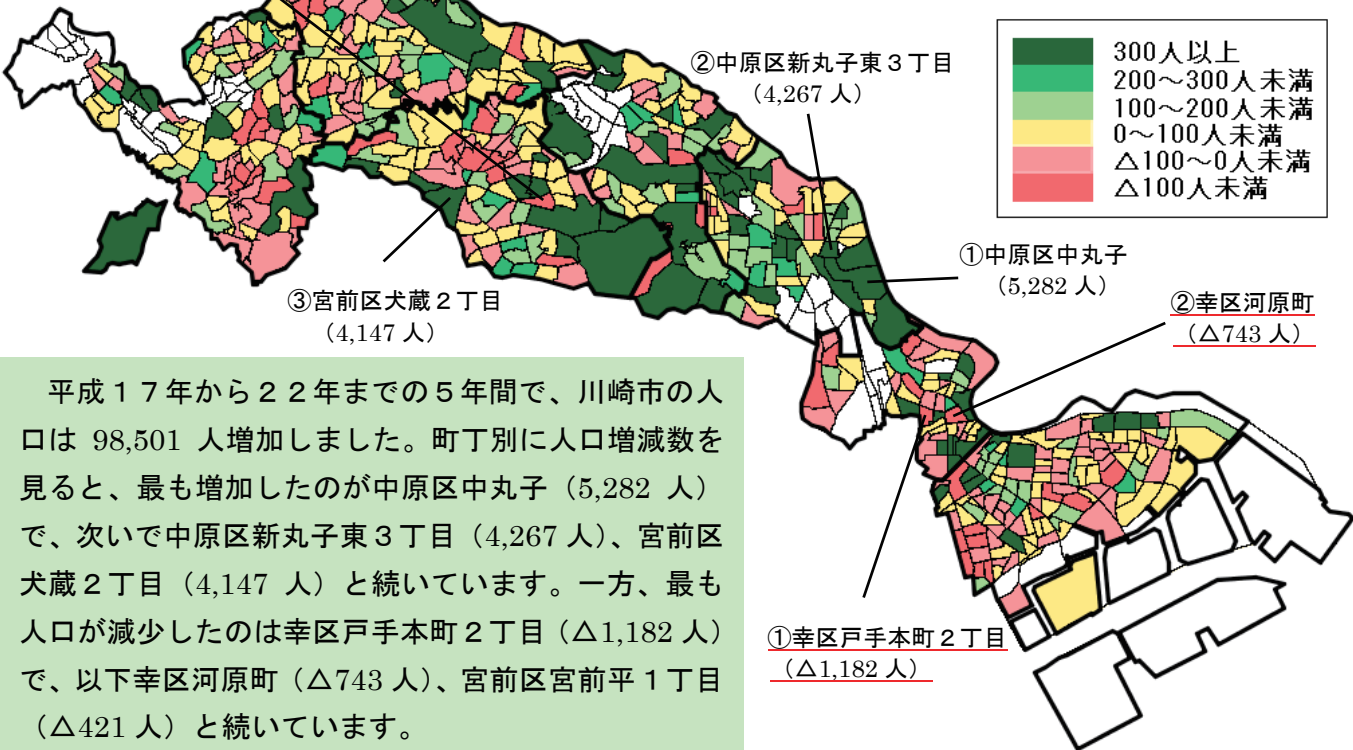


## 2. 人口増減数（平成17年～22年）

③宮前区宮前平1丁目  
(△421人)

※①～③は、人口の増加数が多い上位3町丁、及び減少数が多い上位3町丁を表示しています。

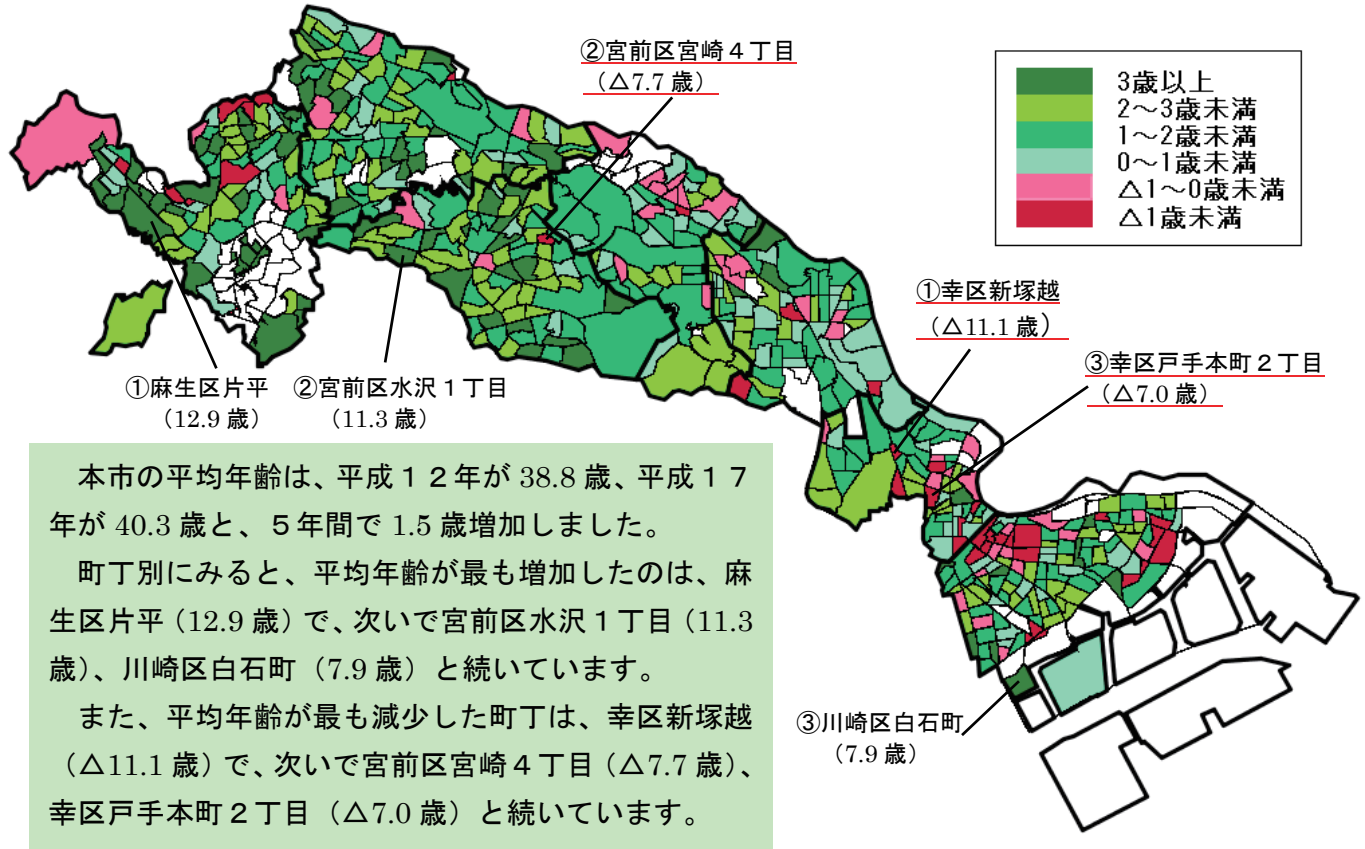
※地図で白色になっている地域は、住居表示により境界が変更されたなどの理由により数値が得られない、または該当者のいない地域です。



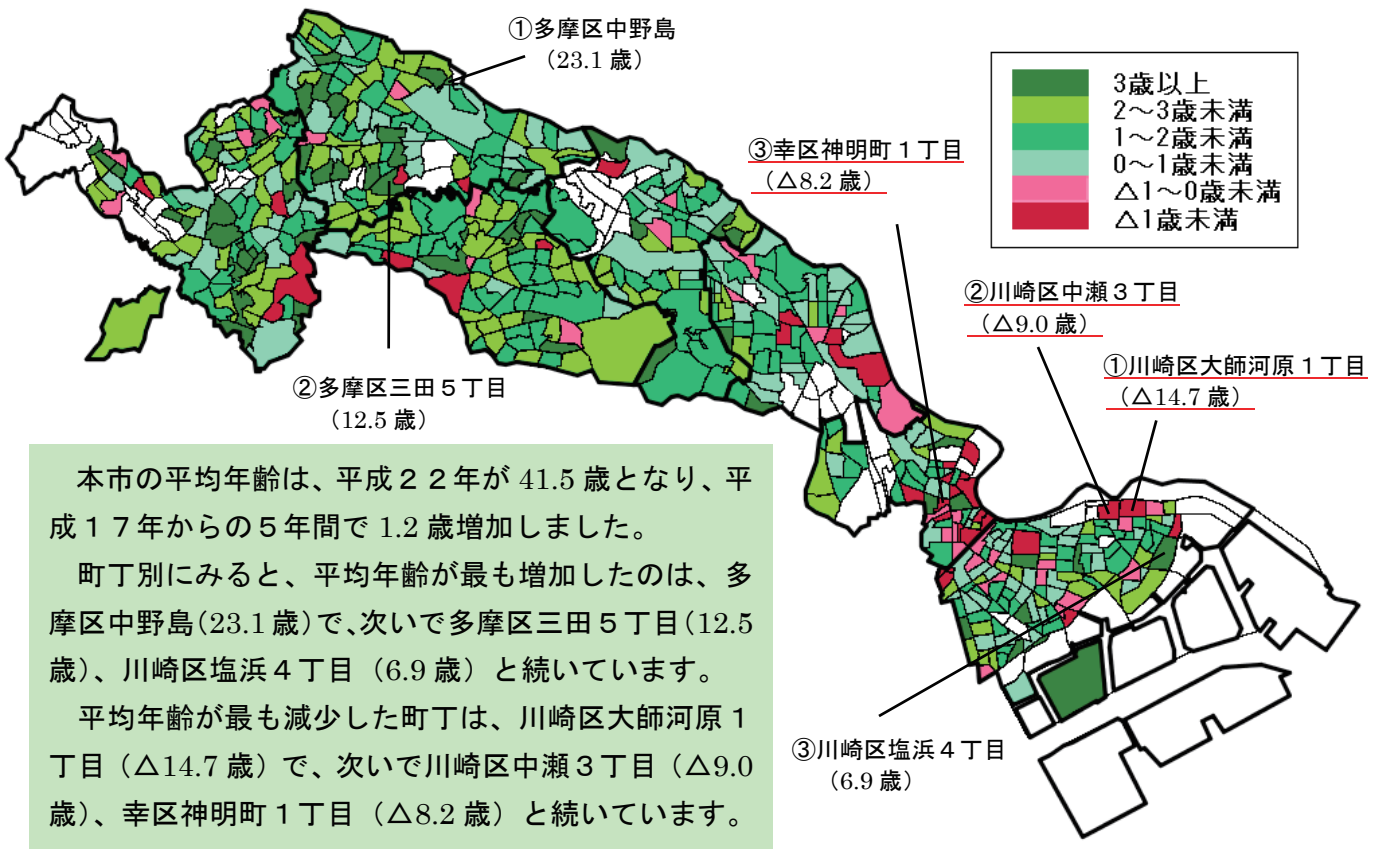
### 3. 平均年齢増減数

#### 平成12年～平成17年

※①～③は、平均年齢の増加数が多い上位3町丁、および減少数が多い上位3町丁を表示しています。  
 ※地図で白色になっている地域は、住居表示により境界が変更されたなどの理由により数値が得られない、または該当者のいない地域です。



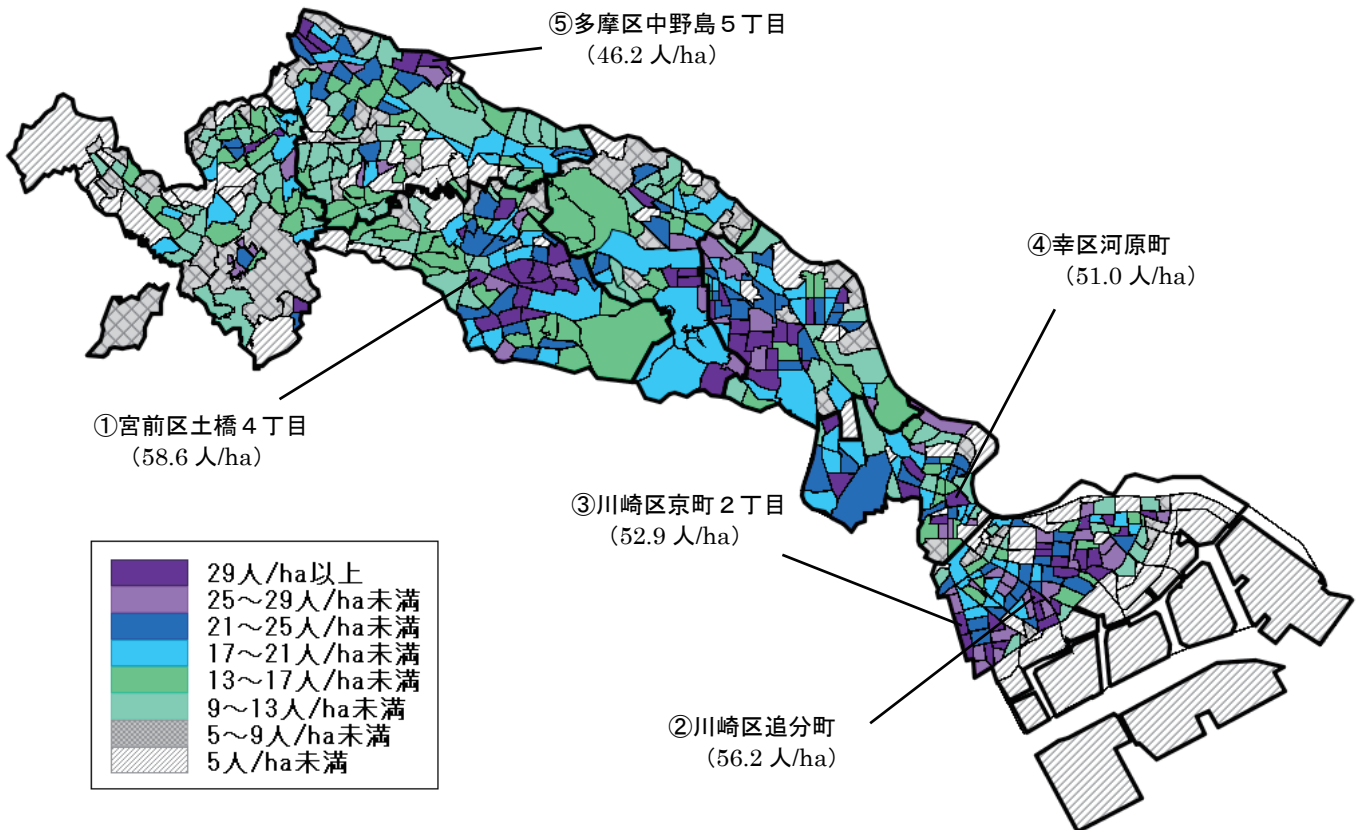
#### 平成17年～平成22年



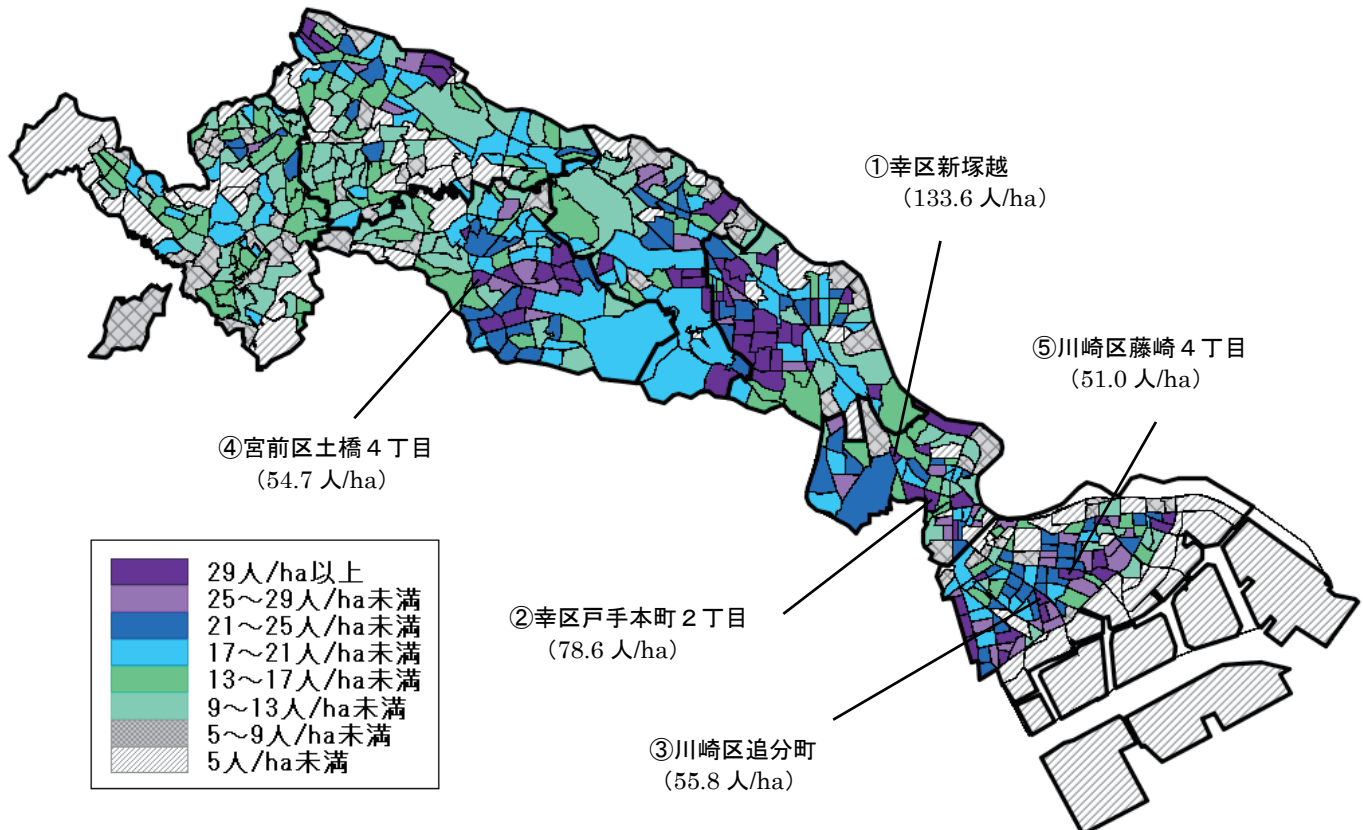
## 4. 年少（15歳未満）人口密度（平成12年、平成17年、平成22年）

※①～⑤は、年少（15歳未満）人口密度の高い上位5町丁を表示しています。

### 平成12年

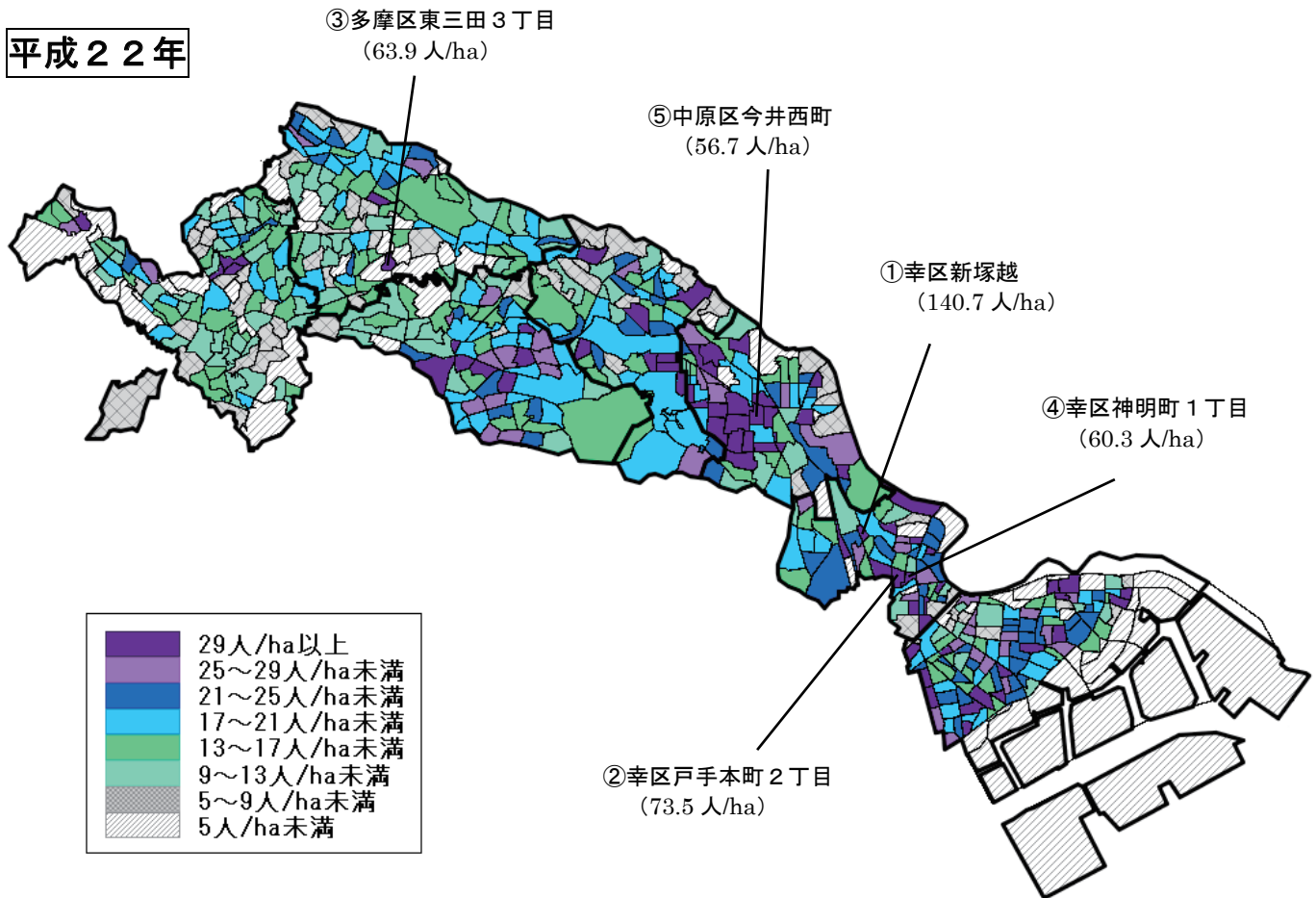


### 平成17年





平成22年



市全体の年少（15歳未満）人口密度は、平成12年が11.9人/ha、平成17年が12.2人/ha、平成22年が13.0人/haと、上昇傾向にあります。

区別で見ると、平成12年、平成17年、平成22年のいずれの年においても中原区で最も高くなっています。

また、平成12年から平成22年の10年間の変化を見ると、中原区では17.3人/haから20.3人/ha、高津区では15.4人/haから17.9人/ha、そして麻生区では8.5人/haから10.0人/haと、他の区に比べて大きく上昇しています。

町丁別で見ると、最も年少人口密度が高い町丁は、平成12年は宮前区土橋4丁目（58.6人/ha）、平成17年、平成22年はともに幸区新塚越で、それぞれ133.6人/ha、140.7人/haとなっています。

年少人口密度の高い上位10町丁（P3「町丁別ランキング」を参照）を見ると、平成12年、平成17年、平成22年と、入れ替わりが激しくなっています。これは、企業が売却した工場や社宅の跡地などで大規模な住宅建設が増加し、多くの人々が本市に転入したことなどによる人口構成の変化が、年少人口密度にも大きな影響を及ぼしているためと考えられます。

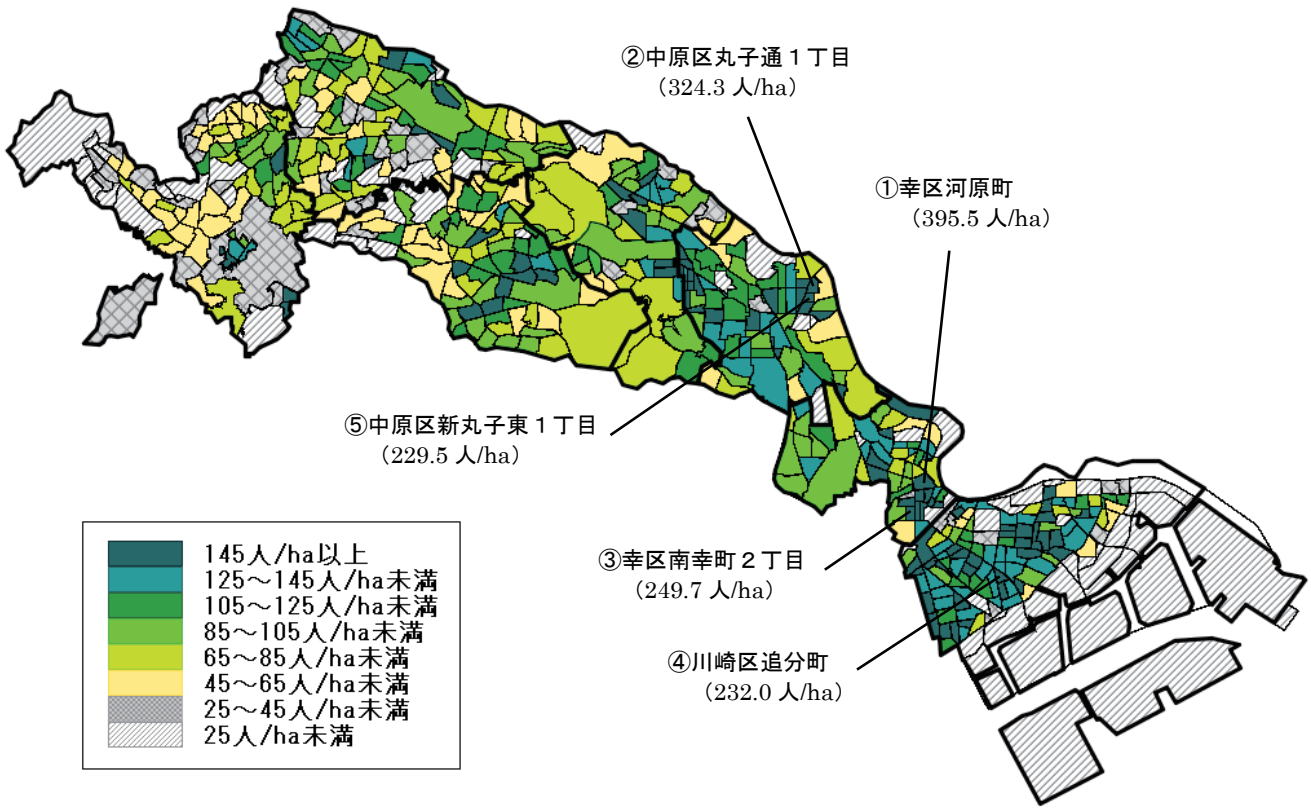
年少人口密度(人/ha)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	11.9	12.2	13.0
川 崎 区	6.1	6.1	6.4
幸 区	17.3	17.8	19.4
中 原 区	17.3	18.0	20.3
高 津 区	15.4	16.7	17.9
宮 前 区	17.3	17.4	17.6
多 摩 区	13.1	12.7	12.5
麻 生 区	8.5	8.9	10.0

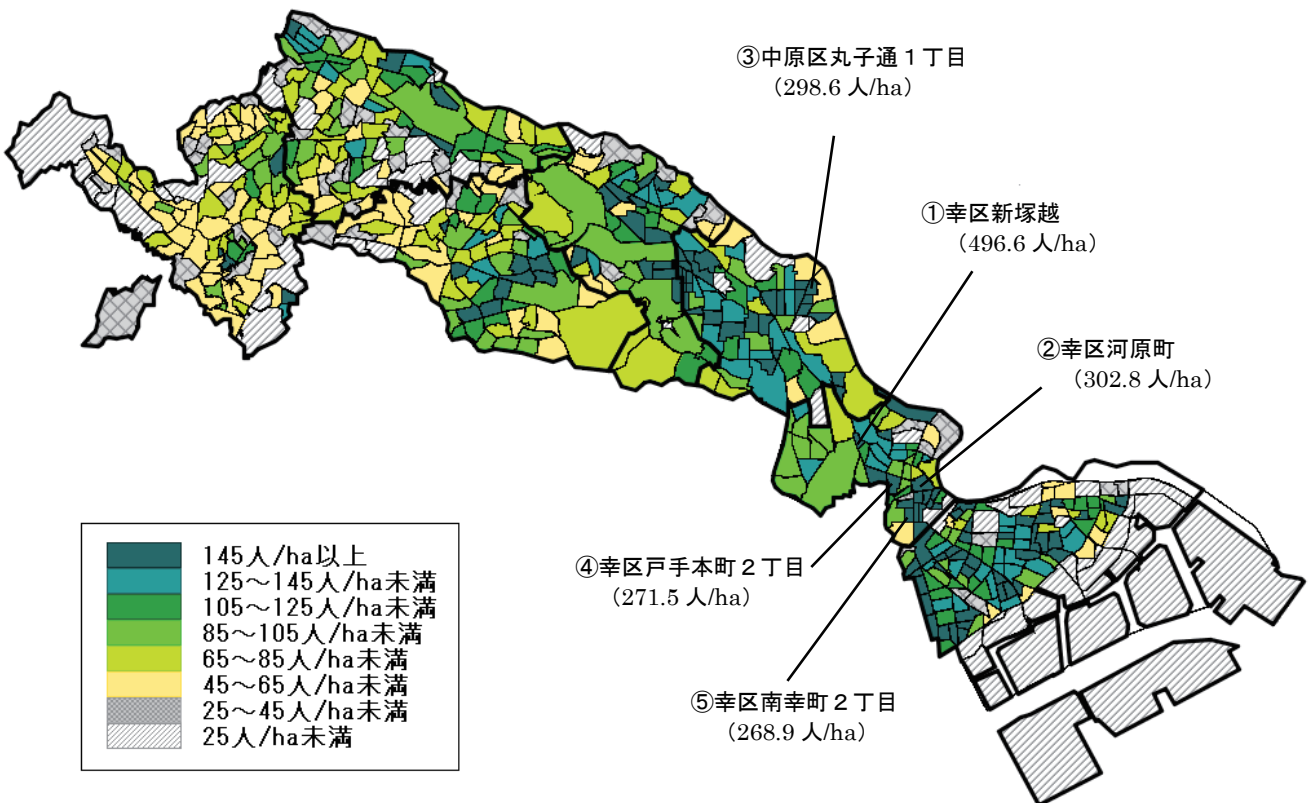
## 5. 生産年齢（15歳～64歳）人口密度（平成12年、平成17年、平成22年）

※①～⑤は、生産年齢（15～64歳）人口密度の高い上位5町丁を表示しています。

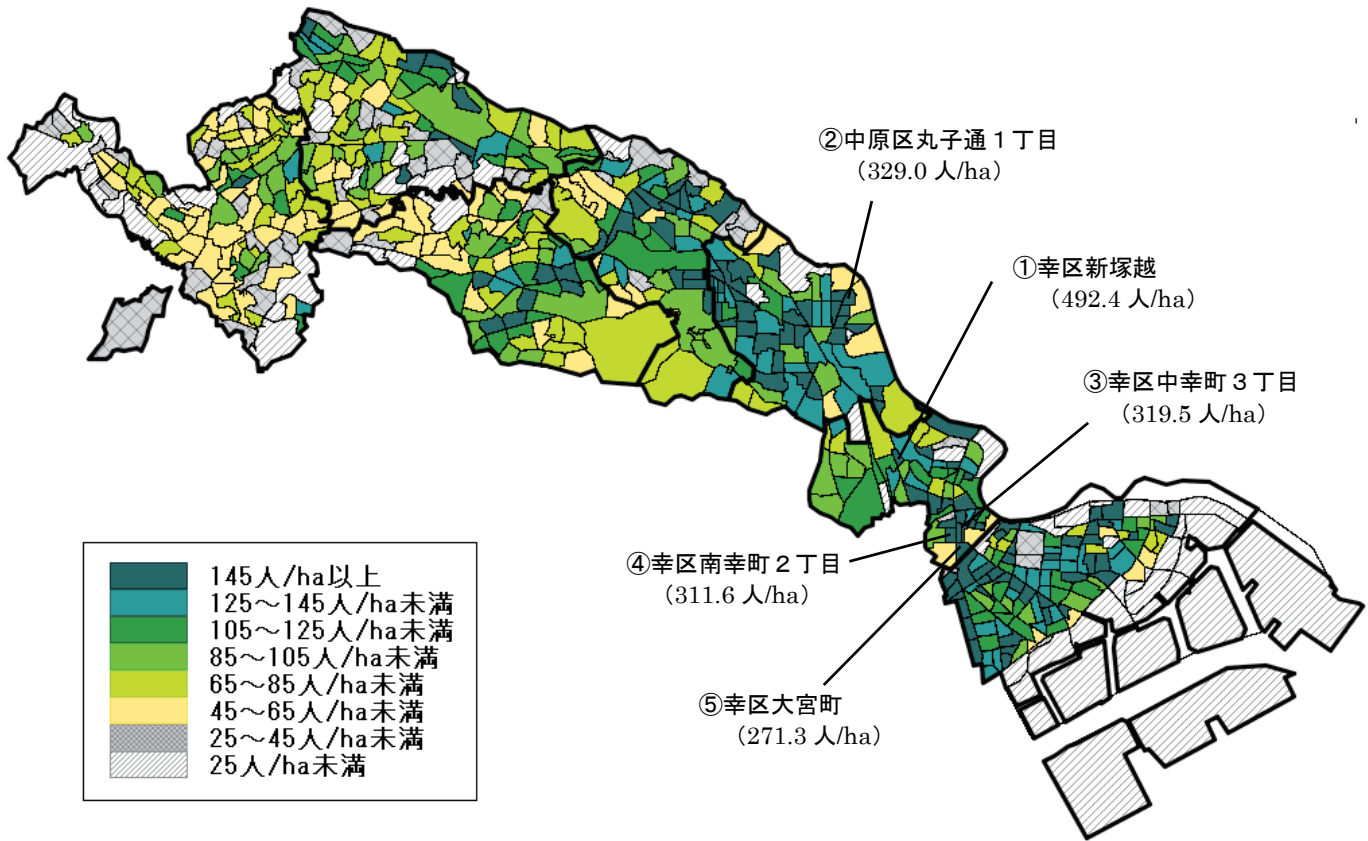
平成12年



平成17年



平成22年



市全体の生産年齢（15～64歳）人口密度をみると、平成12年が64.6人/ha、平成17年が67.0人/ha、平成22年が69.1人/haと、上昇傾向にあります。

区別にみると、平成12年、平成17年、平成22年のいずれの年においても、中原区で最も高く、次いで幸区、高津区と続いています。

また、平成17年から平成22年にかけて多摩区で僅かに減少していますが、それ以外の区では平成12年から平成17年、平成17年から平成22年と、一貫して上昇しています。

最も生産年齢人口密度の高い町丁は、平成12年は幸区河原町で395.5人/ha、平成17年、平成22年はともに幸区新塚越で、それぞれ496.6人/ha、492.4人/haとなっています。

生産年齢人口密度の高い上位10町丁（P3「町丁別ランキング」参照）をみると、幸区と中原区の町丁が、平成12年は6町丁、平成17年は9町丁、平成22年も9町丁を占めています。

また、川崎区追分町、幸区南幸町2丁目、中原区丸子通1丁目、中原区丸子通2丁目、中原区新丸子東1丁目の5町丁は、平成12年、平成17年、平成22年の10年間、継続して上位10町丁に入っています。

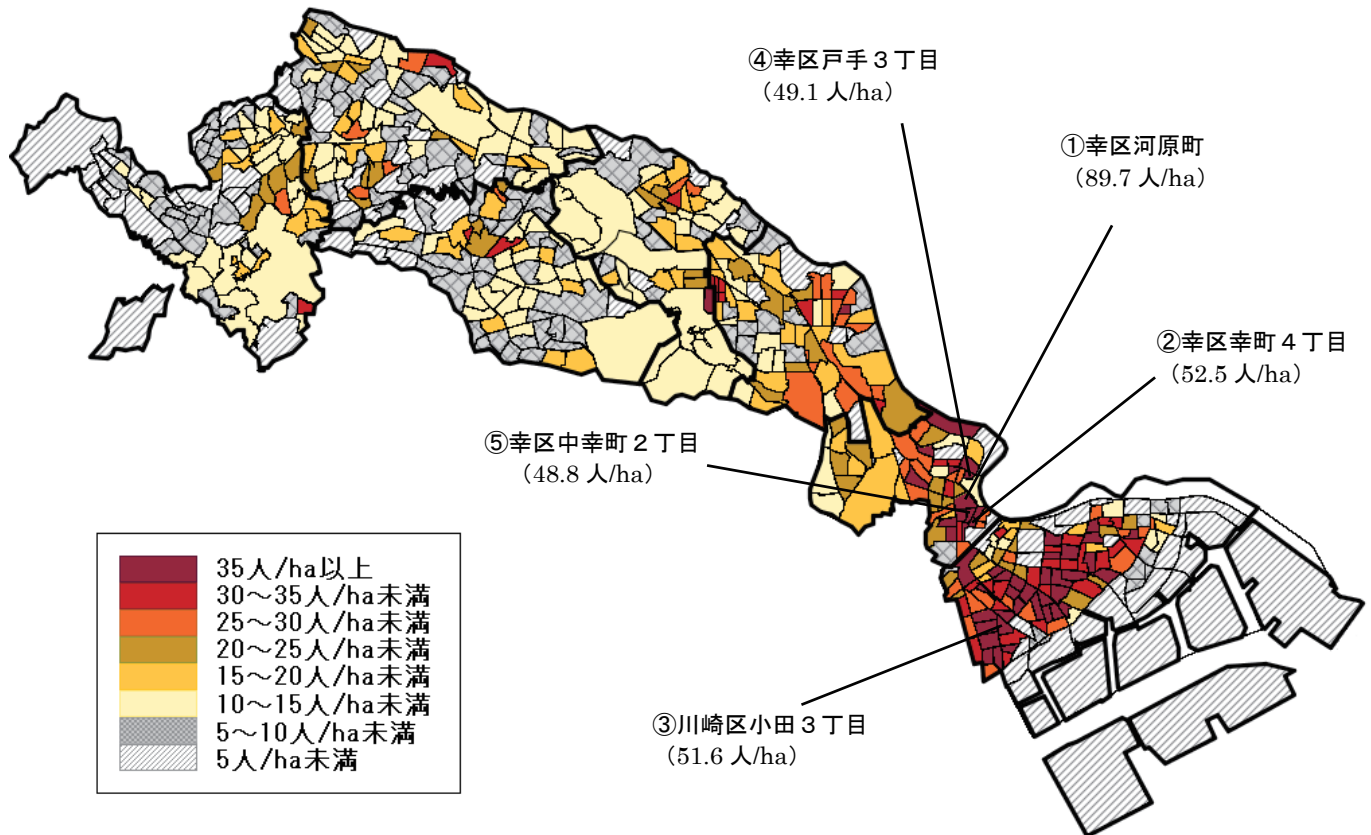
生産年齢人口密度(人/ha)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	64.6	67.0	69.1
川 崎 区	34.9	35.8	36.8
幸 区	97.9	101.4	103.7
中 原 区	101.2	106.4	115.4
中 高 津 区	83.5	90.6	93.6
高 宮 前 区	80.4	80.5	80.9
多 摩 区	73.0	74.8	74.7
麻 生 区	44.5	46.2	48.7

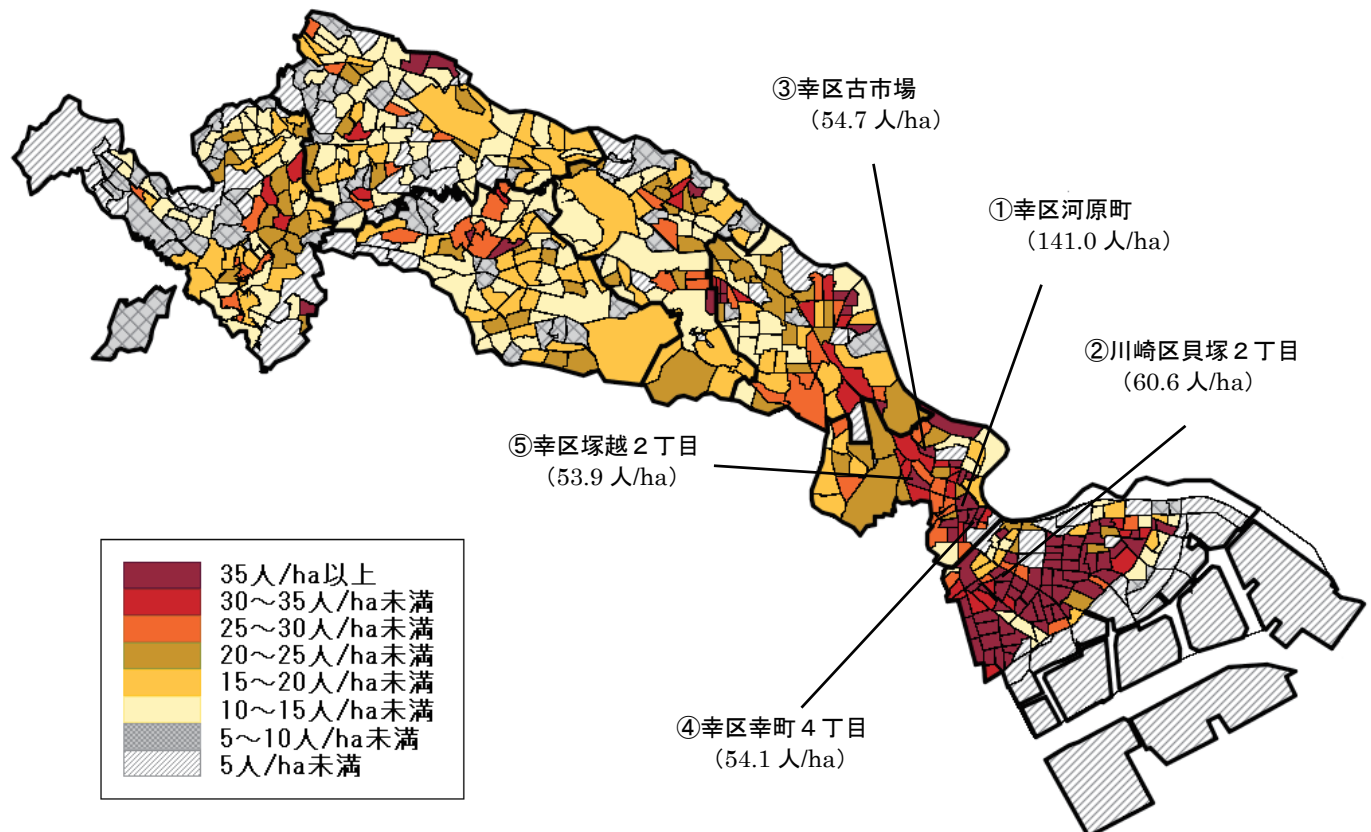
## 6. 老年（65歳以上）人口密度（平成12年・平成17年・平成22年）

※①～⑤は、老年（65歳以上）人口密度の高い上位5町丁を表示しています。

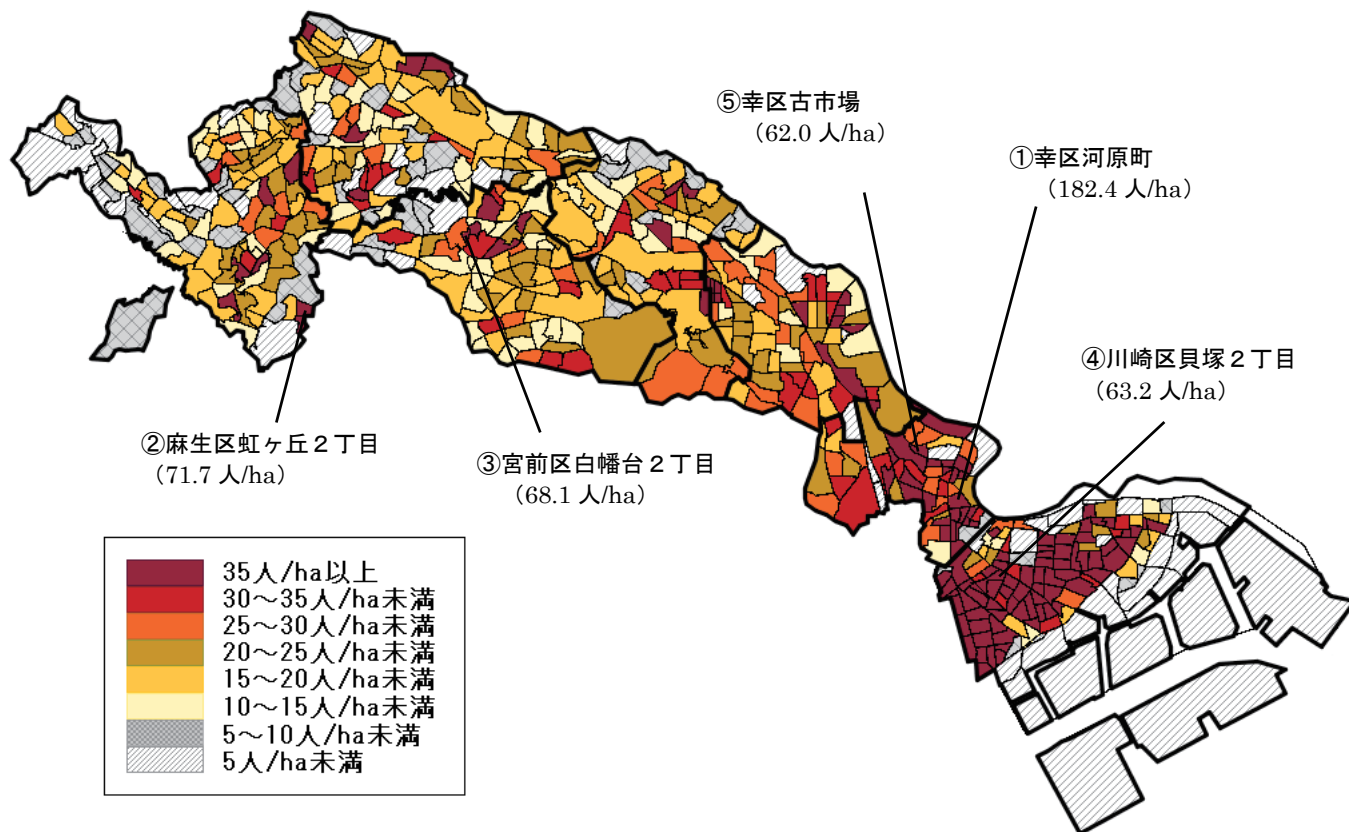
平成12年



平成17年



平成22年



市全体の老年（65歳以上）人口密度は、平成12年が10.8人/ha、平成17年が13.6人/ha、平成22年が16.6人/haとなっており、平成12年から平成17年、平成17年から平成22年でそれぞれ20%以上上昇しています。

区別で見ると、平成12年、平成17年、平成22年のいずれの年においても、幸区で最も高く、次いで中原区、高津区と続いています。

また、上昇傾向が顕著な高津区、宮前区、多摩区、麻生区では、平成12年には10～15人/ha未満、5～10/ha未満、5人/ha未満の町丁が多くみられましたが、平成17年、平成22年と、それらの町丁が次第に減少し、老年人口の密度が高まっているのがわかります。

川崎区の数値は他の区に比べて低くなっていますが、工場地帯のある臨海部を除いた地域をみると、35人/ha以上の町丁が多く、老年人口密度が高くなっています。

最も老年人口密度が高い町丁は、平成12年、平成17年、平成22年のいずれも幸区河原町で、それぞれ89.7人/ha、141.0人/ha、182.4人/haとなっています。

老年人口密度の高い上位10町丁（P3「町丁別ランキング」を参照）をみると、平成12年には上位10町丁をすべて川崎区と幸区の町丁が占めていましたが、平成17年には麻生区虹ヶ丘2丁目、平成22年には麻生区虹ヶ丘2丁目、宮前区白幡台2丁目、それぞれ上位10町丁に入っています。

老年人口密度(人/ha)

市・区別	平成12年	平成17年	平成22年
全 市	10.8	13.6	16.6
川 崎 区	8.0	9.4	10.9
幸 区	21.1	25.1	29.6
中 原 区	16.4	18.8	21.7
高 津 区	12.0	15.6	19.6
宮 前 区	10.2	14.3	18.8
多 摩 区	10.2	13.3	16.4
麻 生 区	8.0	10.7	13.7

## 《統計表一覧》

以下の表は、平成22年国勢調査の人口等基本集計結果について、川崎市が独自に集計したものです。

すべての表は、ホームページからダウンロードすることができます。

「<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-3-4-1-0-0-0-0-0.html>」

表番号	表題	集計単位
<b>【男女・年齢・配偶関係】</b>		
第1表	年齢（各歳）、男女別人口、年齢別割合、平均年齢及び年齢中位数	市、区、町丁
第2表	配偶関係（4区分）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上人口及び平均年齢	市、区、町丁
<b>【世帯数・世帯人員】</b>		
第3表	世帯人員（10区分）別一般世帯数、一般世帯人員及び1世帯当たり人員（間借り・下宿などの単身者及び会社などの独身寮の単身者－特掲）	市、区、町丁
第4表	施設等の世帯の種類（4区分）、年齢（5歳階級）、男女別施設等の世帯人員（一般世帯のうち間借り・下宿などの単身者及び会社などの独身寮の単身者－特掲）	市、区、町丁
<b>【世帯の家族類型・世帯主との続き柄】</b>		
第5表	世帯の家族類型（16区分）別一般世帯数及び一般世帯人員（3世代世帯並びに6歳未満、18歳未満及び65歳以上世帯員のいる一般世帯－特掲）	市、区、町丁
第6表	世帯人員（2区分）、世帯主との続き柄（12区分）、年齢（5歳階級）、男女別一般世帯人員	市、区、町丁
<b>【住居の状態】</b>		
第7表	延べ面積（6区分）、住宅の建て方（8区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（7区分）別一般世帯数、一般世帯人員及び1世帯当たり人員（世帯が住んでいる階－特掲）	市、区、町丁
第8表	世帯の家族類型（16区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（7区分）、住宅の建て方（8区分）別一般世帯数及び一般世帯人員（3世代世帯及び世帯が住んでいる階－特掲）	市、区
第9表	世帯の家族類型（16区分）、住居の種類・住宅の建て方（34区分）別一般世帯数及び一般世帯人員（3世代世帯及び世帯が住んでいる階－特掲）	市、区
第10表	建物全体の階数（30区分）、世帯が住んでいる階（30区分）別共同住宅に住む一般世帯数	市、区、町丁
第11表	世帯の家族類型（16区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数及び一般世帯人員（3世代世帯－特掲）	市、区、町丁
第12表	延べ面積（6区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（7区分）、年齢（5歳階級）、男女別世帯数	市、区、町丁
<b>【高齢世帯員のいる世帯】</b>		
第13表	65歳以上世帯員の有無、延べ面積（14区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（7区分）別一般世帯数、一般世帯人員、65歳以上世帯人員及び1世帯当たり人員	市、区、町丁
<b>【高齢夫婦世帯】</b>		
第14表	延べ面積（6区分）、住居の種類・住宅の所有の関係（7区分）、夫婦の種類（2区分）別夫婦のみの世帯数（夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯、いずれかが65歳以上の夫婦のみの世帯及びいずれかが60歳以上の夫婦のみの世帯－特掲）	市、区、町丁
<b>【外国人】</b>		
第15表	国籍（11区分）、男女別外国人数	市、区、町丁

## 《平成22年国勢調査の主な集計結果の公表概要》

名称	内容	公表予定
<b>平成23年度</b>		
川崎市の人口(1) —人口等基本集計結果—	人口、世帯、住居及び外国人に関する結果並びに高齢者世帯等に関する結果	平成24年2月 (公表済)
<b>平成24年度</b>		
川崎市の人口(2) —移動人口の男女・年齢等集計結果—	人口の転出入状況に関する結果	平成24年5月 (公表済)
川崎市の人口(3) —独自集計編①— 人口等基本集計結果	総務省公表の人口等基本集計結果を基に、川崎市に関する主要な調査結果を独自に集計したもの。また、GISを活用し、統計データを市域図上に町丁別に表示している	平成24年10月
川崎市の人口(4) —人口重心及び産業等基本集計結果—	人口重心、人口の労働力状態、就業者の産業別構成に関する結果及び夫婦と子供のいる世帯等に関する結果	平成24年10月
川崎市の人口(5) —移動人口の産業等集計及び従業地・通学地による人口・産業等集計—	移動人口の労働力状態、産業別構成及び教育に関する結果、及び従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の産業別構成に関する結果	平成24年12月
川崎市の人口(6) —独自集計編②— 産業等基本集計結果	総務省公表の産業等基本集計(第2次基本集計)結果を基に、川崎市に関する主要な調査結果を独自に集計したもの	平成25年2月
<b>平成25年度</b>		
川崎市の昼間人口	従業地・通学地集計結果とともに、学校基本調査及び経済センサス集計結果を基に推計した町丁別昼間人口	平成25年5月
川崎市の人口(7) —職業等基本集計結果—	就業者の職業別構成及び親子の同居等の状況に関する結果	平成25年6月
川崎市の人口(8) —独自集計編③— 職業等基本集計結果	総務省公表の職業等基本集計を基に、川崎市に関する主要な調査結果を独自に集計したもの	平成25年8月
川崎市の人口(9) —従業地・通学地による職業等集計結果及び移動人口の職業等集計結果—	従業地による就業者の職業別構成に関する結果、移動人口の職業(大分類)に関する結果	平成25年9月
川崎市の人口(10) —独自集計編④— 従業地・通学地集計結果及び人口移動集計結果	総務省公表の従業地・通学地集計及び人口移動集計結果を基に、川崎市に関する主要な調査結果を独自に集計したもの	平成25年10月
川崎市の人口(11) —独自集計編⑤— 学区別集計結果	総務省公表の国勢調査集計結果を基に、地域生活に関わりの深い事項を学校区別に独自に集計したもの	平成25年12月
川崎市の人口(12) —従業地・通学地による抽出詳細集計結果及び抽出詳細集計結果—	就業地及び従業地による就業者の産業、職業別構成に関する詳細な結果	平成26年3月
<b>平成26年度</b>		
川崎市の人口(13) —独自集計編⑥— 従業地・通学地による抽出詳細集計結果及び抽出詳細集計結果	総務省公表の抽出詳細集計結果を基に、川崎市に関する産業・職業の詳細な分類(小分類)に基づく就業者の産業、職業別構成に関する事項を独自に集計したもの	平成26年9月



KAWASAKI CITY  
川崎市

---

---

## 川崎市の人口（3）

平成22年国勢調査結果報告書

〔人口等基本集計結果〕  
独自集計編①

平成24年（2012年）10月発行

発行 川崎市  
編集 総合企画局都市経営部統計情報課  
川崎市川崎区宮本町1番地  
TEL 044(200)2111（大代表）

印刷所 川崎市幸区新塚越201番地  
株式会社東邦プラン

---

---

平成22年国勢調査の結果は川崎市ホームページでも御覧になることができます。  
「<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-3-4-1-0-0-0-0-0.html>」